

出来事ファイル (No.23-3)



春節祭本部から見る神港橋高等学校龍獅團の龍舞。朝早くから大勢の観客が集まった。



南京町広場にて神戸中華同文学校舞獅隊の中国獅子舞のステージ。



一瞬で顔の面が変わる中国四川地方の伝統芸能「変臉」。

2023南京町春節祭

「春節祭」は、旧暦で正月を祝う中国の節句「春節」をアレンジして1987年に始まった南京町最大のイベントです。今年は1月22日(日)が旧暦の元日だったため、「2023南京町春節祭」は1月22日(日)と27日(金)～29日(日)の合計4日間で開催しました。獅子舞などのステージイベントも含めコロナ禍前に近い内容で実施できたのは、実に3年ぶりのことでした。

獅子舞も舞踊も音楽も何もない本当に寂しい2021年と2022年の春節祭も、オンライン配信やテントブースの展開などその当時で出来る限りの「春節祭」を開催してきたつもりです。けれども今年、規模を縮小したとはいえ京劇の衣装とメイクでパレードする「中国史人游行」や南京町内と元町商店街さんの店舗を獅子が訪問して駆邪招福の舞を披露する「獅子舞採青」が沿道の皆様に笑顔で迎えられ、南京町広場での「変臉&雑技」「太極拳」「舞踊」「音楽」といった中国伝統芸能のステージイベントが大きな拍手をいただいている様子を

見て、「やっぱりこうでなくちゃ!」という気持ちになりました。「2023南京町春節祭」を多くの皆様の笑顔とともに盛況のうちに終えることができましたのも、ひとえに周辺地域、協賛企業、行政など関係各位のご尽力の賜物と深く感謝しております。本当にありがとうございました。

春以降は感染症の分類が変更されるそうですし、一日でも早くコロナ禍前以上に活気ある元町地域になるよう願ってやみません。「2023南京町春節祭」がその景気づけになってくれていたらいいなと思っています。



京劇の衣装とメイクでパレードする「中国史人游行」。パナーを持つのは玄宗皇帝と楊貴妃。



「獅子舞採青」で店舗を訪問し駆邪招福の舞を披露する神戸華僑総会舞獅隊の獅子舞。

■もとまちハーバーグリーン作戦

もとまちハーバー懇談会では2月1日(水)正午12時から、地域一帯のグリーン作戦を実施した。エスタシオン・デ・神戸5名、ベルコから7名、ネットトヨタ株式会社から24名の参加がありました。



エスタシオン・デ・神戸のみなさん/髷ベルコのみなさん/ネットトヨタ株式会社のみなさん

□読者プレゼント

観覧ご希望の方は、展覧会名と住所・氏名・年齢・本紙へのひと言を添え、本紙編集部までハガキでお申込み下さい。先着順で2名の方にペア招待券をお送りします。

◎ゴッホの世界に飛び込め！ゴッホ・アライブ

真つ暗な広い展示室に設置された様々な大壁と床に大迫力の”ゴッホ”が投影される新感覚のゴッホ展。まるで自分が作品に溶け込んでいくかのような五感で体験することができます。

会場：兵庫県立美術館ギャラリー棟3階ギャラリー

会期：3月18日(土)～6月4日(日)

電話：0570-200-888

キョードーインフォメーション(月～土 11:00～18:00)

◎特別展「恐竜図鑑—失われた世界の想像／創造」

恐竜をはじめとする古代生物のイメージの歴史を概観し、人々の想像力を絶えず刺激し続ける太古の世界の住人たちを紹介します。

会場：兵庫県立美術館

会期：3月4日(土)～5月14日(日)

電話：☎078-262-1011

チャールズ・R・ナイト《ドリフトサウルス(飛び跳ねるラエラプス)》1897年
グアッシュ・厚紙 40x58cm アメリカ自然史博物館、ニューヨーク
Image #100205624, American Museum of Natural History Library



Photo: Grande Experiences

みなと元町

タウンニュース

TOWN NEWS



発行：みなと元町タウン協議会 住所：〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内 発行人：奈良山喬一 編集人：岩田照彦 電話・FAX：078-391-0831

「まちラボ」が目指す「まちづくり」とは

まちづくり会館4階「まちラボ」運営責任者 NPO法人 神戸まちづくり研究所 事務局長 浅見 雅之

皆さん。まちラボを運営している神戸まちづくり研究所の浅見です。ここでは「まちづくり」という言葉の意味を考えることを通じて「まちラボ」の存在意義を考えてみたいと思います。

“まちづくりってよく分からない”

神戸まちづくり研究所の事務局長をしておきながら、こんなことを言うのもなんですが…。「まちづくり」ってよく分からない言葉ですよ(笑)

「まちづくりってどんなことだと思いますか?」と、皆さんにお聞きすると「道路や住宅地をつくること」とお答えになる方が多いです。確かにそれもまちづくり。

「街」+「つくる」と考えたら、一番分かりやすい「まちづくり」の説明といえるかも知れません。

でも、私達は、「まちづくり」を、建物や道路などのハードウェアの話だけだとは考えていません。むしろソフトウェアな取り組みであると捉えています。

例えば「最近自治会活動が停滞しているのではなんとかしたい」と考えることや、「困っているお年寄りをみんなで助けよう」と相談するのでもまちづくりだし、みんなで話し合っ「これからは道で地域の人に会ったら、お互いにあいさつをするようにしよう」と決めることも「まちづくり」だと考えています。

“「まち」に含まれる特別な意味”

勤のよい方は、もうお気づきかも知れませんが、「まちづくり」の「まち」には、単なる「街」とは別の意味が込められています。(そのことが「まちづくり」をよく分からない言葉になっている原因でもあります。)

「まちづくり」という時の「まち」には、道路や建物などの他に、「地域に関わる人たちの関係」という意味を含んでいると考えたと分かりやすくなりませんか。つまり、「まちづくり」というのは「地域に関わる人々の関係づくり」でもあるということです。

“地域の課題をどうやって解決するか”

地域社会には、それぞれ様々な課題があります。どこの地域でも、自治会の加入率の

減少、自治会の存続、地域の担い手の不足、担い手の高齢化などの問題のほか、ゴミステーションの管理、地域のイベントへの協力者の減少、地域内の高齢者の生活支援の必要性など、たくさんの地域課題を抱えているのが地域の現状です。

こうした地域の課題を「まちづくり」つまり「地域に関わる人々の関係づくり」を通じて、地域の中で解決していこうというのが、私達の考える「まちづくり」です。



イベント「KOBEmachi大2022」より
筆者はホワイトボードへの板書を担当した。

“人口減少社会を生き抜ける地域になろう”

ところで、もしかすると「そういった地域の課題を解決するのは、市役所などの行政の役割だ」とお考えの方もいらっしゃるかも知れません。

でも、人口減少社会を迎える中で、行政職員は年々少なくなってきており、行政が地域を支援する力はだんだんと弱くなってきているのが現状です。

(地域の皆さんの力ではどうにもならないことは市役所に任せるとしても)自分たちの地域の暮らしをよくしていくためには、地域の皆さんで協力しながら課題を解決していかなければならない。地域社会はそんな状況になりつつある。

それに何より、自分たちの地域のことを一番よく知っているのは、その地域に住む住民の皆さんに決まっています。自分たちの住むまちがどうなっていけばよいのかを決めるのは、行政ではなく地域住民だと考えたほうが理にかなっていると思いませんか。

人口減少社会にあつては、行政の力を頼るだけでなく、地域の皆さんが協力し合って、課題解決の方策を皆で主体的に考えられるような地域になることが求められてお

り、地域に関係する多くの人達(行政や地域団体・NPOなど)と連携しながら課題を解決していけるような「柔軟かつしぶとい地域社会」になって行く必要があるのです。

“「まちづくり」は「関係づくり」”

こういった時代に地域に必要なのは、地域に関わる多くの人達が主体的に地域運営に関われるようなくみづくりであることは、皆さんにもご理解いただけるのではないのでしょうか。

まちラボでは「まちづくり」とは、「地域に関わる人々の関係づくり・合意形成づくり」であると捉え、その関係づくりをお手伝いしたいと考えています。

“「まちラボ」は「関係づくりラボ」”

そんなわけで「まちラボ」は、「地域に関わる人たちの関係づくり」を目指したラボ(研究所・実験室・実践の場)だとうご理解ください。

地域に関わる皆さんの関係をつくる場所として、あるいは地域に興味のある皆さんの活動拠点として、皆さんのご利用をおまちしています。

もし「地域をよりよくしたいけどどうしたらいいか分からない」とか、「地域で活動したい」と思う方はぜひ、さらには「活動したいけどどうしたらいいか分からない」という方もぜひ、お気軽に「まちラボ」をお訪ねください。

熱意あふれるスタッフと、経験豊かなアドバイザーたちが、よりよい地域社会づくりについて皆さんと一緒に悩み・考え・活動をお手伝いします。

皆さん、まちづくり会館4階の「まちラボ」を、これからもよろしく願いいたします。



イベント「レコードをかける会」より
まちラボでは多様な持ち込み企画も大歓迎!

海という名の本屋が消えた（112）

平野義昌

西村旅館(4)

1938(昭和13)年「西村旅館」宿泊者には海外渡航の軍将校、経済人、教育関係者に加え、慰問に向かう文化人・芸能人の名が並ぶ。大陸の戦火は広がり、出征した「西村」従業員・山城一郎が重傷を負い野戦病院に入院。現地取材中の顧客・木村毅が見舞っている。

同年7月の阪神大水害時、「西村」宿泊中だった松江部隊兵士が復旧作業を手伝った。

39(昭和14)年2月、貫一は「朝日新聞」に東光会(洋画団体)展覧会評を寄稿。続いて同月「神戸又新日報」に「宿屋も国策線へ」寄稿。外国人客の値引き要求、行政観光課・旅行会社による斡旋不公平や料金値引きなど、宿屋業の現状を訴える。旅館・ホテルの公平な等級制定とお客の要望に応じた斡旋を提案。「叱られるかも知れぬが云い難いことを判っきり云う性質だから御免候え」。註

同年3月、次男倫敦は満洲新京(現在吉林省長春市)のヤマトホテル研修に旅立つ。西村夫妻も同行し、貫一は単身満洲各地を巡り、北京まで足を伸ばす。

同月25日「朝日新聞」が神戸のホテル・旅館超満員「興亜景気」と報道。「防共盟邦ドイツ人激増」(註)など外国人客増加による。桜見物の観光客とビジネスマンで東海道線の切符入手も争奪の状態だった。「西村」はじめ港近くの旅館も中国渡航の日本人で満員。

4月8日「神戸日日新聞」(補註1)に貫一の『世界ゴルフ蔵書目録』出版計画記事。貫一は既に英、独、伊、ブラジル、中国など20カ国のゴルフ書1万冊を蒐集。先の満洲・中国旅行で中・露の稀観本を入手、目録刊行と世界各国に寄贈を決断。記事は、国際親善に有意義、と紹介。貫一は、ゴルフは銃後国民の体位向上にふさわしい遊戯、と語る(註)。7月の出版を目指すも、戦争拡大のため実現せず。

同日、森鷗外の長男・於菟(おと、台北帝国大学医科教授)が「西村」来泊。館内で鷗外の文房具や日記などを展示し、茶話会を開催。貫一は鷗外を訪ねたことがある。

同年10月「朝日グラフ趣味講座」に貫一蔵書票随筆発表(書物関連は改めて紹介)。

1940(昭和15)年3月、「神戸新聞」「毎日新聞」に「西村」接客女中求人広告、月給80円。前年「朝日」に出した広告では初任給40円だった。東南アジアはじめ外地からの引き揚げ者が激増したことによる。

41(昭和16)年2月西村夫妻は新京の倫敦との書簡を印刷して関係者に配布。同月「神戸新聞」に長男・雅貫の写真機器研究紹介記事。雅貫は「素人の趣味もお国のために」と科学報国の夢を語る。8月には作家・長谷川時雨が「東京日日新聞」で雅貫を紹介。「遠くない将来、子孫に望遠鏡、または顕微鏡による素晴らしい何か発見者が現れるであろうと、頼もしい趣味」と賞賛した。註、補註2

同年4月倫敦が修行を終え帰神。7月31日深夜「西村」に盗人侵入、客が捕縛。8月8日「毎日新聞」にオリエンタルホテルの外国人客激減記事。英米両国との絶縁状態および在日英米人の資産を凍結した影響である。8月16日「朝日新聞」に湊川の料亭・常磐花壇休業記事。「従来の料理が造れず質を落としては店の格にかかわり、さりとて闇取引などではのれんに傷がつく」(註)。12月8日、日本は英米との戦争に突入する。

42(昭和17)年、大政翼賛会の文学者たちが

国内外の文化講演会往復に「西村」宿泊。5月神戸商工会議所で同会文化部長・岸田國士と哲学者・谷川徹三が講演。岸田は「愛郷の熱意を持って」と、神戸文化と「西村」についても言及した。具体的内容は不明。註

同年国際汽船会社重役・住田正一(補註3)が雑誌「海運」に「西村」を話題に2度寄稿。8月「接客業」。かつて貫一が住田の著書を読み、蔵書拝借を願ったことから交流が始まった。住田は「西村」を訪れて書物寄贈、古書蒐集者としてより旅館主人・貫一に興味を覚えた。貫一が語るには、世の中で接客業ほど面白い職業はない、あらゆる階級の人びとに接近できる、旅館主人の仕事はお客の機嫌を伺うことではなく、常に室内の空気を綺麗にしておくこと、と。さらに、旅館主人に学問は不要、人間を研究すること、心の底から人間を知ること、と持論を述べた。10月「金の貸借」では世間の悩ましい問題＝金銭貸借について西村家の出来事を紹介。次男・倫敦満洲修業中の書簡冊子に、実家に送金を願ったやり取りがある。1ヵ月分の給料全額を気の毒な同僚に貸したため、生活費補填を求めた。長男の返答は、人助けは良いことだが修業中という立場を考えよ、他人に貸して自分は家に頼るのは間違い、助けるなら最初に相談すべき、独力で解決せよ、よって送金はしない。母は長男の言い分をもっともと思うが、そこまで考えて人助けはできない、と100円を2回に分けて送金する。そして貫一の手紙。父として大変に良い行為と思うけれども、この件で学んでほしい。他人に金を貸すな、貸すくらいなら与えよ、与えよとなれば「修業中という立場」を考慮するだろう。与えることは難しいが、それでもそうしたいと思ったら全額与えるべき。父の手紙を3度読み味わえ、と。住田は、金銭貸借は事業の場合のみ、個人間は贈与が原則、と結ぶ。註

43(昭和18)年1月10日次男(倫敦から雅司に改名)出征。同19日「西村」にて座談会開催。「賀正 趣味の人を御招きして最近お読みになった書名でも御感じになった事でも縦令一言お互いに話し合う会を催そうと思います」。会費代わりに1人米1合持参、夫人同伴。文化人、経済人らが集まった。註

3月1日飲食税・宿泊税改正により「西村」料金改定。飲食税、1円50銭より2円49銭まで3割、2円50銭より4円99銭まで4割、5円以上5割。宿泊税、3円より4円99銭2割、5円より9円99銭まで3割、10円以上5割。告知文に「大東亜戦争完遂のため快く納税いたしましょう」とある。註

3月三菱養和会(三菱社員の親睦団体)の会誌に同社黎明期のエピソード記事。明治初期の「三菱汽船運送問屋 栄町通三丁目西村店」の印判(写真)と「西村」の絵(前号参照)も掲載。註

4月貫一は町会長から町内防衛部長を任される。7月「毎日新聞」に記録「神戸一男の手記」を発表。夜間の見回りで電灯つけっぱなし、窓も開けっ放しの会社を発見し、怒鳴り込む。雨中の防空資材運搬作業中、会長が傘をさして眺めていることに腹腹、抗議。町内ポンプ点検、会社・事業所の設備点検、非常炊き出し練習計画、雑誌に空襲下の食糧記事を見つけ大量購入して配布、ポンプの有効利用通知などなど、職務に挺身した。

〈〇月〇日 夜全市を歩いて見る、学校、役所等が最も燈火の遮蔽が出来ていないのには驚いた、反省を要す〉註

11月貫一「防衛部長二ヶ月半」出版、友人知

人に配布。

44(昭和19)年6月、雑誌「陳書」第15輯(神戸市発行)に貫一随筆「日本最古のゴルフ文献」寄稿。先年住田から寄贈された書物を紹介する。本土空襲が迫るなかゴルフ文献とは。私思うに、よく書いた・よく載せた。

45(昭和20)年1月2月の来泊者はほとんど経済人。松下幸之助やグリコ・江崎利一の名がある。2月から3月『年譜』の記述はメモ書き。米軍機本土空襲が激化。「西村」の人員10名、男子は貫一と下男・雛助のみ。疎開の荷物を運び出し、従業員と出入り商人に戦争死亡保険を掛ける。

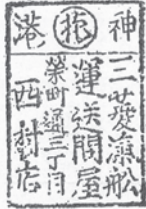
3月17日午前1時過ぎ空襲警報。〈西より東に、市内各所見る見る火の海、三時間に渡る連爆。北隣銀行に一弾落下。主人活躍、消火成功。山手より火の手栄町に迫る。火の子飛び来る。一同表玄関に整列。長年の間働かせて頂いた西村旅館の建物に最敬礼。列を作って海岸に女軍を避難完了。主人と雛助二人再び帰り来り消火。火煙にて呼吸苦しく終に引き揚く。〉註

「西村」焼失。庭の離れ座敷だけが残った。7月住田が「同盟通信」に寄稿。「西村」被災を例に、新日本建設のため破壊の犠牲はやむを得ない、と述べる。「古い腐りかけた思想で固まっている日本」(註)は破壊されるべき、と。空襲後に貫一が取った行動とその理由も知らせる。(1)瓦の破片片づけ。(2)焼け跡に植物植え付け。(3)風呂作り。

〈祖先から貰った家の瓦だけは自分で始末しなければ相済みぬ気がしたからである。また焼跡に住むということになるとやはり青いものが目に必要であると感じた。それは自分のためのみでなく来訪者にとっても同様である。殊に風呂はこんな場合罹災者の気持を明朗にせしむるものであるから、これまた急いで作らなければならない。〉註

住田は改めて宿屋主人の人生哲学に感心。貫一は戦地の雅司と連絡を取り合い、旅館再建の意思を共有する。

註 今回の引用文はすべて『西村旅館年譜』より。旧字・旧かなは適宜新字・新かなに改めた。写真も同書より。補註1 「神戸日日新聞」は1922(大正11)年楠町7丁目で創刊した夕刊紙(4ページ)。のち栄町に移る。「日本経済新聞」に改称するも、40(昭和15)年新聞統廃合により廃刊。参考文献 『全国新聞便覧 大正13年1月現在』(愛知通信社、1924年)、『神戸新聞七十年史』(神戸新聞社、1968年)。補註2 雅貫の研究にスパイ容疑がかかるが、その技術と性能から参謀本部にスカウトされた経歴あり、との記述。時期不明。「大叩き男(イラストレータ 渡辺隆司)のブログ」(2021.12.28) <https://ameblo.jp/oootata-ki01/entry-12718038773.html> 1941(昭和16)年雅貫は京都帝国大学を中退して陸軍参謀本部に勤務。「対談 カメラの鬼」(「雪」1961年9月号、神戸市消防局)より。補註3 住田正一は当稿「鈴木商店」で登場、金子直吉の秘書。海運業界に勤めながら海軍史研究。『海軍大辞書』(海文堂、1925～26年)の編著者。



三菱送問屋

みなとMOIOMACHケンチクさんぽ

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部
vol.20 兵庫地域会 地域まちづくり委員会

アーケードの魅力

春節の前になると、元町商店街の設えが春節仕様になるのですね。南京町と並行する一丁目から三丁目までスズランの飾りに赤い提灯が加わります。元町商店街は大都市中心市街地型のアーケード商店街です。

現在の元町駅のあたりに三ノ宮駅ができてそれが東に移転し、最初の三宮駅の付近には元町駅が作られました。その南側に広がる商店街です。江戸時代から西国街道は大坂を経由せずに京都と西国をつなげる道で、西国大名の参勤交代に利用されていました。この辺りでは、神戸市役所、三宮神社、大丸と来て、元町商店街に入るルートとなっています。その名残がこの商店街の魅力ともなっています。もっとも直接の物的な遺構はほとんどないのですが、江戸時代の繁栄が震災や震災を乗り越えて受け継がれているのです。中山道のような古



神戸元町商店街4丁目

多彩なアーケード

英語のアーケードarcadeのarclは弓形、アーチですから、柱の上にある連続したアーチの屋根のある通路をいうところから発生した用語です。おおむね商店街です。ただ日本では屋根が平らな場合もアーケードと呼びます。一般的にいうと、ヨーロッパのアーケードは大きな建物をくり抜いたように通路ができています。高級な商店街の場合が多くなっています。18世紀にフランスで発生し、「パサージュ」と呼ばれています。それに対し日本のアーケードは、もともと屋根のなかったところに屋根を架けたものです。両者とも雨やつよい日差しに妨げられることなく、真っ直ぐ歩きながら買い物ができるという点では同じ意図を持っているといっていいいでしょう。

京都では、目抜き通りの四条通から北へ寺町・京極商店街と新京極商店街があり、それと直行する錦市場が都心型のアーケード商店街で有名です。地域密着型の出町枳形商店街は元気



京都・出町枳形商店街の出町座

道がいまなお各地で魅力的な都市景観を呈しているのはよく語られるところです。全天候型アーケードは1955年に建設省の商店街整備事業から始まり1980年に完成します。震災や震災を経たの関係者の努力の跡が歴史の重みに重なっています。

神戸元町商店街のアーケードは、まず何よりも道幅が広いのが特徴です。そして長く、大丸の前から西へ1.2kmにわたります。老舗の多いのも特徴です。テラー、美容室、洋菓子店などモダニズムを感じさせます。モダニズムというのはすこし古いというニュアンスがあり、大正・昭和戦前の雰囲気も伝えているのでしょうか。菓子店が多いのが際立っているでしょうか。瓦せんべい・金つば・モンブラン・ゴフルなど多彩です。創業100年を超える老舗もいくつかあります。お店の構えや設えに重厚感があります。アーケードがなければ、もっとすばらしいだろうと思わせる表構えもありますが、眺めて



歩く楽しみがあります。2003年に定められた景観形成の協定により「高級感」「ハイカラ」「エレガント」をキーワードとすることになっています。

商店街と交わる横道が変化に富みます。本誌の349号で山隈直人さんが元町商店街の精緻な分析をされています。「商店街と交わる路地や道路から見える景色の魅力は他の商店街には見られません」。南京町や六甲の山々が見える眺めが魅力だとの指摘でした。

元町映画館はユニークな存在で、ウェブでの紹介「街角や商店街には必ずあった映画館が次々と姿を消し、テレビで宣伝しない映画は上映の機会をなくしています。世界中の優れた芸術作品の上映数は減り、映画芸術の過疎化が進んでいます」という問題意識から出発しています。神戸元町みなと古書店がこうべまちづくり会館の1階にありますが、これも商店街に厚みを増しています。



重厚感ある細部

でユニークなので紹介しておきましょう。京阪電車の終点出町柳駅から鴨川デルタを超え西に行ったところ、河原町通と寺町通の間にあります。北陸から運ばれてくる魚が通った鯖街道の終点にあります。大正年間に周辺に食料品店の集積が始まり、1974年にはアーケードとなりました。アニメの「たまこまーけっと」や「夜は短し歩けよ乙女」の舞台となっていて、若い人による聖地巡礼の対象ともなっています。2017年に映画館の出町座が開館して、やはり商店街の雰囲気や少し変えました。元町映画館と通ずるものがあります。

ベルギーの首都ブリュッセルには、「ギャラリー・サンチュベール」という19世紀半ばにかけ建設されたアーケードがあります。ファサードは3層となっていて、天井はガラス張りになっています。劇場やレストランのあるショッピング・アーケードです。荒れた場所であったところを改良しようとした点では、日本の商店街のいきさつとも似ています。世界遺産の候補にもなってい



ギャラリー・サンチュベール

ます。

もうひとつ驚いたのはカーディフの商店街です。英国ウェールズ的首都カーディフは「アーケードの都市」とさえいわれるほど、迷路のようにアーケードが続いています。高級アーケードから庶民的なアーケードまであり、天井の高いのやら低いのやらがあります。降水量は1200mmでイギリスの中では多い方ですが、日本の平均的な降水量1700mmに比べるとそれほど多いわけではありません。ただ2日に一度ほど雨が降るようです。

日本ではヨーロッパの都市中心部に比べて歩行者専用道がとてすすくないのですが、それをカバーするのがアーケード商店街です。日本では雨が多く日差しも強いので、第二次大戦後は全国の大都市から小都市までアーケードが普及しています。ところが中心市街地の衰退のなかでシャッター街と呼ばれるような場所が、いたるところで問題となっています。アーケード商店街がとても貴重な日本の財産であることは、元町商店街がつよく主張しています。



中林 浩(なかばやし ひろし)

2021年まで神戸松蔭女子学院大学教授／都市計画学や景観問題の研究／博士(工学)